

JENESYS2015（招へいプログラム）

対象国：ラオス，テーマ：文化（日本語コミュニケーション・日本文化体験）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ラオスより日本語・日本文化に関心を有する大学生 21 名が来日し、日本の政治、社会、歴史、および日本文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、3月8日から3月15日までの7泊8日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

ラオス 21 名

3. 訪問地

東京都、福岡県

4. 日程

3月8日（火） 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

3月9日（水） 【日本理解講義】

東京都から福岡県へ移動

3月10日（木）【歴史伝統文化体験】福岡市文化交流公園松風園 茶道体験

【学校交流】福岡工業大学

3月11日（金）【地場産業視察】株式会社安川電機 ロボット工場

【自然・文化体験、歴史的建造物視察】

大宰府天満宮 木うそ絵付け体験

【ホームステイ対面式】

3月12日（土）【ホームステイ】

3月13日（日）【ホームステイ歓送会】

【ワークショップ（報告会準備）】

3月14日（月）福岡県から東京都へ移動

【報告会】

3月15日（火）成田国際空港より出国

5. JENESYS2015プログラム記録写真

ラオス（（文化）、日本語コミュニケーション・日本文化体験）訪日団の記録

	
<p>3月10日 【歴史・伝統文化】松風園 茶道体験（福岡市）</p>	<p>3月10日【学校交流】福岡工業大学（福岡市）</p>
	
<p>3月11日 【最先端技術】安川電機ロボット工場（北九州市）</p>	<p>3月11日【歴史・伝統文化】木うそ絵付け体験（太宰府市）</p>
	
<p>3月13日【ホームステイ】歓送会（朝倉市）</p>	<p>3月14日 報告会（東京都）</p>

6. 参加者の感想

◆ ラオス 大学生

日本人はマナーがよく、時間と秩序を守っています。発展しているにもかかわらず、伝統文化も保存されており、それは伝統的な家屋や料理にも現れています。帰国後は、自分

の経験を後輩や友人に伝え、JENESYS への参加をすすめたいと思います。

◆ ラオス 大学生

第 2 次世界大戦後の日本の復興についての講義が興味深かったです。公衆トイレの清潔さに驚きました。安川電機では、産業ロボットの先進性に目を見張りました。学校交流やホームステイで歓待されたことは忘れられません。パクセーに帰ったら、日本での経験を友人や家族に伝えたいと思います。

◆ ラオス 大学生

近代化と自然を調和させて発展してきた日本は、平和であり、町に秩序があります。日本は資源が少ないのに発展できた一方、ラオスは資源も豊富で気候も良いのに発展が遅れています。また、日本では高齢者へのサービスが充実し、高齢者も元気に活動しています。私は将来出来る限り頑張っって国を発展させたいです。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）／

参加者のプログラム中の発信内容

	
<p>日本での気づき</p>	<p>アクションプラン</p>
	
<p>Facebook 発信</p>	